

## 第5章 豊後大野市公共交通網形成計画の検証

平成29年3月に策定した豊後大野市公共交通網形成計画に基づき、公共交通に関する施策を推進してきました。5年間の実施状況について振り返り、達成状況について検証しました。

### 【豊後大野市公共交通網形成計画の目標と事業一覧】

#### 目標① 重複した交通資源の可能な限りの効率化等によるコスト削減・資源の有効活用

- ①路線バスとコミュニティバスの重複区間の整理（大野、朝地等）
- ②病院送迎を活用した新たな公共交通の試み（三重地域）
- ③スクールバスの混乗化の一層の促進（清川地域）
- ④利用状況に応じたバス車両の小型化によるきめ細かな運行の実現

#### 目標② 乗継拠点・乗継環境・バス停環境の改良・改善による利便性の向上

- ⑤広域移動ニーズに対応した路線の維持（犬飼、朝地）、乗継ぎ促進（情報提供等）
- ⑥乗継拠点での情報提供（道の駅での公共交通に関する情報の発信）
- ⑦乗継拠点の待合環境の整備（道の駅あさじ）
- ⑧バス停コンテストの継続的实施（地域主体のバス停維持・管理）

#### 目標③ 公共交通利用者の維持・増加を目指した割引・イベント・情報提供・モニタリング等の検討・実施

- ⑨免許返納を促進するための公共交通割引券等の検討
- ⑩体験乗車会の企画検討・実施（大人の社会見学の各地域での展開）
- ⑪より分かりやすい情報提供や道の駅での時刻表の配布
- ⑫モニタリングの継続実施による利用状況の把握と見直しへの反映

#### 目標④ 7つのエリア別の運行形態・ルート・ダイヤ・バス停等のきめ細かな見直し

- ⑬三重 小坂線のデマンド化、内田線の中心部巡回線への変更、病院送迎の活用
- ⑭清川 あいのりタクシーの緒方（または三重）までの延伸、スクールバスの活用
- ⑮緒方 南部東線、長谷川南部線の見直し、竹田市方面への路線バスの見直し
- ⑯朝地 鳥屋線、南部幹線、白木線等の利用促進、竹田市方面へのアクセス確保  
「道の駅あさじ」の待合環境の整備、情報提供の充実
- ⑰大野 「道の駅おおの」の待合環境の整備、情報提供の充実
- ⑱千歳 利用増加を前提とした運行頻度の向上の可能性の検討
- ⑲犬飼 大分市方面へのアクセス確保

目標	実施事業		実施状況	評価
	事業名称	事業内容		
(1) 重複した交通資源の可能な限りの効率化等によるコスト削減・資源の有効活用	①路線バスとコミュニティバスの重複区間の整理(大野、朝地等)	大野の「安藤線」(路線バス)と「貫原線」(コミュニティバス)、朝地の「温見線」(路線バス)と「梨原線」(コミュニティバス)等、重複している路線の見直しを行う。	大野は未実施 朝地は一部実施	B
	②病院送迎を活用した新たな公共交通の試み(三重地域)	三重地域の各病院で実施している病院送迎をまとめて、新たな公共交通として運行する可能性について、病院との協議を踏まえ検討を進める。	未実施	C
	③スクールバスの混乗化の一層の促進(清川地域)	清川地域のスクールバスについて、一般の方の利用が見込める地域へのルートの変更等により、混乗化を促進させる。	未実施	C
	④利用状況に応じたバス車両の小型化によるきめ細かな運行の実現	利用状況により、小型化が可能なバス車両について、計画的に小型化を推進し、よりきめ細かな運行が必要な地域への車両として活用する。	一部実施	B
(2) 乗継拠点・乗継環境・バス停環境の改良・改善による利便性の向上	⑤広域移動ニーズに対応した路線の維持(犬飼、朝地)、乗継ぎ促進(情報提供等)	犬飼から大分方面、朝地から竹田市方面等、広域移動ニーズに対応した路線バスを、利用状況に応じて維持する。また、コミュニティバスからの乗継ぎ促進につながる情報提供等を行う。	路線は基本的には維持されている 乗継ぎ促進に関する情報提供は不十分	B
	⑥乗継拠点での情報提供(道の駅での公共交通に関する情報の発信)	「道の駅おおの」や「道の駅あさじ」等の乗継拠点において、バスのダイヤや乗車バス停の位置情報、目的地側の情報など、公共交通に関する情報発信を行う。	情報提供は不十分	C
	⑦乗継拠点の待合環境の整備(道の駅あさじ)	「道の駅あさじ」において、バス停の待合環境が路線バスでは屋根・ベンチがなく、コミュニティバスでも屋根がないため、屋根・ベンチの整備等の待合環境の整備を行う。	ベンチは片側のバス停で設置	B
	⑧バス停コンテストの継続的实施(地域主体のバス停維持・管理)	利用の多いバス停や利用満足度の高いバス停への表彰制度「バス停コンテスト」を継続的に実施し、地域主体のバス停維持・管理に寄与させる。	継続的に実施	A
(3) 公共交通利用者の維持・増加を目指した割引・イベント・情報提供・モニタリング等の検討・実施	⑨免許返納を促進するための公共交通割引券等の検討	高齢者の交通事故問題の解消を目的として、免許返納を促進するための公共交通の割引制度等の検討を行う。	運転免許証自主返納を支援(タクシー臨時乗車券、大分県バス会社共通回数券、コミバス回数券の交付)	A
	⑩体験乗車会の企画検討・実施(大人の社会見学の各地域での展開)	学生主体による公共交通利用促進の社会実験イベント「大人の社会見学」を各地域で地域中心に実施する仕組みを検討し、公共交通の利用促進・利用維持につなげる。	「大人の社会見学」自体は、ほぼ一通り全地域で実施。今後は地域主体での実施を検討(大野ではその動きあり)	A
	⑪より分かりやすい情報提供や道の駅での時刻表の配布	公共交通に関するより分かりやすい情報提供や、道の駅での時刻表や路線図の配布等、積極的な情報発信による利用促進・利用維持を目指す。	時刻表・路線図の配布	B
	⑫モニタリングの継続実施による利用状況の把握と見直しへの反映	コミュニティバス・路線バスの利用状況のモニタリングを継続的に実施し、利用の増加・減少を踏まえた路線の見直し(増便・減便、ルート変更、バス停位置変更、運行形態の見直し等)に反映させる。	毎年モニタリングを実施。 見直しの検討が不十分	B

目標	実施事業		実施状況	評価
	事業名称	事業内容		
(4) 7つのエリア別の運行形態・ルート・ダイヤ・バス停等のきめ細かな見直し	⑬三重 小坂線のデマンド化、内田線の中心部巡回線への変更、病院送迎の活用	三重地域では、利用の少ない小坂線のあいのりタクシーへの変更、同じく利用の少ない内田線の三重中心部の巡回線への変更について検討する。また、数多い病院送迎という交通資源を有効活用した新たな公共交通の可能性についても検討する。	小坂線は利用の少ない区間をデマンド化 三重中心部巡回線、病院送迎の活用については検討できていない	B
	⑭清川 あいのりタクシーの緒方（または三重）までの延伸、スクールバスの活用	清川地域では、あいのりタクシーの乗降場所が清川中心部に限定されているため、実際の目的地である緒方または三重の中心部まで乗り入れるように、運行エリアの変更を検討する。また、スクールバスを一般の方も利用できるように有効活用を図る。	未実施	C
	⑮緒方 南部東線、長谷川南部線の見直し、竹田市方面への路線バスの見直し	緒方地域では、利用の少ない南部東線、長谷川南部線の見直しを行うとともに、竹田市方面の路線バスについては、利用状況を見ながら、ルートや減便等の見直しを検討する。	コミバスの検討は不十分 路線バスの竹田市方面の系統は減便等対応	B
	⑯朝地 鳥屋線、南部幹線、臼木線等の利用促進、竹田市方面へのアクセス確保 「道の駅あさじ」の待合環境の整備、情報提供の充実	朝地地域では、利用の少ない鳥屋線、南部幹線、臼木線について、再編後まだ時間が経っていないこともあるため、利用の呼びかけや体験乗車会の実施など、利用促進策について検討する。また、竹田市方面（特に、長湯方面）への移動ニーズがあることから、この路線の復活や別の方法でのアクセス確保等を検討する。さらに「道の駅あさじ」の待合環境が良くないことから、情報提供を含め改善について検討する。	朝地地域での利用は伸びていない 「道の駅あさじ」の待合環境の整備も不十分	C
	⑰大野 「道の駅おおの」の待合環境の整備、情報提供の充実	大野地域では、乗継拠点である「道の駅おおの」の待合環境の整備（または道の駅内でバス待ちできるような仕組み等）、情報提供の充実（時刻表の配布や乗車バス停と路線の方面情報の提供等）を図る。	不十分	B
	⑱千歳 利用増加を前提とした運行頻度の向上の可能性の検討	千歳地域では、今後の利用増加が見込めるという条件を元に、現在週に1回のコミュニティバスの運行について、週に複数回の運行への変更について検討を行う。	検討できていない	C
	⑲犬飼 大分市方面へのアクセス確保	犬飼地域では、大分市方面への移動ニーズがあることから、路線バスやJR等の運行本数の確保を図る。	基本的には維持されている	A